



～「笑顔・感謝・努力」を忘れない。社会に出てから役立つ「心の土台」を育てるために～

☆ 目指せ TEPPEN ☆ 待ってろ日本一!! ～ TEAM YAMADA・小規模チームの挑戦 ～

下記の練習計画の欄にも記載してありますが、今月の初めをもって、みんなの「最後の夏の総体」まで「あと531日」となりました。来年度から郡市総体の日程が早まりそうなので、実際にはみんなの代の総体ももう少し早い日程で行われるかもしれません。部活動入部当初は「806日」あった最後の夏の総体までの日程も、もうすでに「1/3」を消化してしまいました。以前にもみんなには話をした通り、私はこの前半の1/3をみんなにテニスを「好き」になってもらう時間と決めていました。そして、その時間も終わりを迎え、いよいよ次の段階に入っていきます。

ただ、これでテニスを好きになる段階が完全に終了したわけではありません。みんなには、もっともっとソフトテニスを好きになってもらいたいと願っています。そのために必要なこととは何か？それは、ソフトテニスの「奥深さを知ること」に他なりません。では、その奥深さとは何なのか？それは「勝つこと。そして、勝つための困難を乗り越えていく達成感や手応え」です。その「困難や苦労」なくして、ソフトテニスの真の奥深さや醍醐味を知り得たり、ソフトテニスをさらに好きになったりすることはあり得ません。

そして、そのような状態になるために最も重要なことがあります。それは、「みんな一人ひとりの真ん中」にソフトテニスがあることです。みんな一人ひとりの真ん中とは、みんな一人ひとりの「生活の中心」とも簡単に言い換えることができるかもしれません。ソフトテニスを、自分自身の真ん中に据え、そこからすべての言動や生活スケジュールにつなげていったり、精神的な考え方を養っていったりする。それこそが「本気の頑張り方」であり、そして、それをする中で、「あのときの経験があったから、今がある。」とか「あのときの一言が、今の私をつくってくれた。変えてくれた。」というような、この先の長い人生を生き抜いていくための「心のよりどころ」を培うことができるのだと、私は考えています。部活動の目的は「人格の形成」ではありますが、それは口で言うほど簡単なものではありません。ただ、礼儀や上下関係を学ぶことのみに人格の形成とはいえません。レクリエーションや体育の授業の延長のような部活動ではなく、その競技（ソフトテニス）を自分自身の「真ん中に据える」ことが、第一歩目だと、私は思いますよ。

< 2月 >

☆ 練習計画 平日 ～ 17:00 or 10 (完全下校) 休日 8:00 ～ 11:00 (解散 11:30)

日	曜日	練習の有無	備 考	あと	日	曜日	練習の有無	備 考	あと
1	日	×		531	15	日	部活動停止期間	※ 夜 11 時までの勉強は当た	517
2	月	×		530	16	月	自主練 1 時間以上	い前、眠たいときの勉強は	516
3	火	○	公立校出願 (～5日)	529	17	火	勉強 3 時間以上	練習より辛く根性が育つ!	515
4	水	○		528	18	水	○	定期テ(17・18日) 新入生部活動見学	514
5	木	○		527	19	木	○		513
6	金	○		526	20	金	○	公立校追検査受付	512
7	土	☆ 県団体選手権香取予選 ☆ in 東総運動場		525	21	土	☆ 銚子市近隣大会 ☆ in 東総運動場		511
8	日	☆ 東総運動場で一日強化練習 ☆ ※上記大会予備日		524	22	日	○		510
9	月	×		523	23	月	×	天皇誕生日	509
10	火	○	公立校志変・希変	522	24	火	○		508
11	水	○	建国記念の日	521	25	水	○		507
12	木	○		520	26	木	○	公立校追検査	506
13	金	○		519	27	金	○	3年生を送る会	505
14	土	×		518	28	土	○		504

※ 裏面もあります。